

令和4年1月12日（水）

**全国知事会 新型コロナウイルス緊急対策本部（第31回）における丸山知事
発言（発言要旨）**

1. オミクロン株の評価について

オミクロン株の評価については、なかなか政府が公式に示されないが、島根県内の198人の症例で申し上げますと、無症状が10%、85%は軽症、中等症が5%、重症者なしといった状況である。

今この（感染が急拡大している）状況で、こうした症状（毎の割合）の状況について、厚生労働省が全国データをとるような状況ではないと考えられるため、各都道府県が把握している感染者の状況に基づいて、臨床現場の意見を踏まえて、各都道府県知事の判断で（オミクロン株に）対応していくということが、現実的な対策ではないかと思っている。

2. ワクチン接種の効果について

感染急拡大に伴って、（現在）ワクチン接種が急がれているという流れの中、誤解が生じやすいと思うことがある。

オミクロン株のブレークスルー感染は、既にながりの割合に上っている。若い方々や、まだワクチン接種してからそれほど日がたっていない方々の感染も増えており、ブレークスルー感染していると認識している。

第3回目の接種を進めていくと、オミクロン株に対して、感染自体を減らしてくれるのではないかなという誤った期待を、（国民に）与えてしまっているのではないかと危惧している。

ワクチン接種は、感覚的に、重症化予防の効果は大変大きいと認識しているが、（ブレークスルー感染している状況を踏まえると、）感染自体を予防する効果は限られていることについては、きちんと国民に対して周知すべきではないかと考える。

3. 需要喚起策の実施について

これだけ感染が拡大していくと、まん延防止等重点措置の地域も含めて、経済活動が大変停滞している。

感染収束後には、需要喚起策が大変重要である。宿泊や観光については、手厚く実施されているが、飲食業に対するGo to イート等の手当では、大変不十分であるため、今後、追加措置を強く求めていく必要があると考える。